

越谷市議会 12月定例会報告

一般質問より

公共施設の電力を再エネ100%に切り替え、市役所からカーボンゼロへ
【質問】カーボンゼロの観点から、市庁舎をはじめとする公共施設の電力を再生可能エネルギー100%に切り替えるべきではないか。

【答弁】(市長)公共施設の使用電力を再生可能エネルギーに切り替えた場合、費用負担の増加が見込まれるが、ゼロカーボンシティの実現に向け公共施設における電力使用の在り方について引き続き調査検討を進めていく。



その他の質問項目

- ・女性管理職の積極登用でジェンダー平等市政を
- ・フードパントリーなどコロナ禍のひとり親への支援を
- ・不登校の子どもと親へもっと支援を
- ・生理用品 学校のトイレ個室へ設置を



山田 裕子



その他質問はこちら
 本会議録画配信

越谷アリタキ植物園にもっと専門性のある管理を

【質問】園の中には絶滅危惧種の樹木や草木が数種類あり、専門家の常駐やボランティアによる運営など今後の管理を見なおす必要があると思うが。

【答弁】(市長)管理は公園緑地課で行っており、ボランティアの高齢化や運営、また教育機関などでの活用を検討していく。



ヤングケアラー、越谷市の実態は

【質問】埼玉県では2020年3月にケアラー支援条例が制定された。本市でヤングケアラーの実態把握や対策はどのようにされているのか。

【答弁】(教育長)2021年7月に市内全中学校の2学年の調査をした際に「ヤングケアラーと自覚している」生徒は全体の1.8%となった。各小中学校教育相談主任を対象とした研修の実施や県作成のハンドブックを全中学生に配布した。ヤングケアラーを早期に把握し適切な支援が受けられるよう努めていく。



清水 泉



その他質問はこちら
 本会議録画配信

子どもの新型コロナワクチン接種後の副反応と感染状況は?

【質問】ワクチンはメリットとリスクがあり、11/5時点の接種後の死亡者は1,359人。正しい情報が必要と考えるが、越谷市の12歳～19歳の副反応の状況は。また、5歳～11歳の感染状況は。

【答弁】(市長)12歳～15歳の接種率約73%(12/5時点)のうち副反応は15件(0.1%)、全員が軽度。11歳以下の感染者は375人(全体の6.7%)比較的感染割合は低く、重症患者はいない。



大田 ちひろ



その他質問はこちら
 本会議録画配信

赤ちゃんとお母さんの居場所ふやして

【質問】子育てサロンや支援センターの増設についての考えは。

【答弁】(市長)施設増設は計画していないが、利用しやすい曜日や時間を考慮し、環境を整備する。他自治体の事例を参考にし、公共施設の開放を検討していきたい。



感染再拡大 逼迫する保健所体制を強化

新型コロナウイルスの感染再拡大で保健所体制の逼迫が心配される中、12月市議会では22年度における越谷市職員定数条例の改正案が賛成多数で可決されました。

主な内容は、第6波に備えた保健所の体制強化を図るため、保健師を10人増員するほか、生活保護世帯の増加に伴うケースワーカーの増員などを行うものです。

長引くコロナ禍で保健医療体制の逼迫、生活困窮者の増加などから市職員の超過勤務は深刻化しています。

昨年4月以降、越谷市保健所ではコロナ対応に忙殺され、月80時間以上の残業を余儀なくされた職員が続出。最長で残業時間が月274時間にももの

ぼった職員もおり、春日部労働基準監督署からは正勧告を受け改善に取り組むこととなりました。

また、越谷市では正規職員以外にも1年ごとの契約である会計年度任用職員(非正規公務員)が約1,000人雇用されていますが、その9割が女性職員であり、雇用における待遇格差やジェンダーギャップの問題も見えてきます。



コロナ禍を通してあらわになった公共サービスの脆弱性や雇用格差の問題から目を逸らさずに、改善に向けて声をあげていかなくてはならないと思います。

ネットの
 視点の

会議規則が
 改正されて
 使ったのは

昨年の6月議会で議員が出産で欠席する際の日数の範囲を産前8週・産後8週までと定めることや、欠席理由に出生のほか育児や介護などを追加する会議規則の改正案が全会一致で可決されました。

今議会で育児を理由に早退を申請したのは男性議員でした。育休取得率の低い本市ですがジェンダーギャップを超えて、女性でも男性でももっと利用してほしいものです。

お手数ですが
 切手をお貼り
 ください

343-0023

越谷市東越谷1-5-17-1F

越谷市民ネットワーク行

差し支えなければ連絡先をご記入ください

住所

氏名

電話番号

※今後レポートなどお知らせを郵送させていただく場合がございます。



議会報告会を開催しました

越谷市民ネットワーク 生き活きレポート

No.120

2022年2月
発行 越谷市民ネットワーク

福田新市政がキックオフ！

初舞台の12月議会で所信表明

新しく越谷市長に就任した福田晃氏が、12月定例議会で所信表明を行いました。

福田氏は衆院選と同日の10月31日に行われた市長選挙で、自民党の全面的な推薦を受けた候補者などを下し、当選をしました。越谷市民ネットワークも全力で支援をしました。

越谷市は自民党などの政権与党の支援を受けない市政が、板川市政、高橋市政と24年間継続している全国的にも珍しい地域です。46歳の福田新市長の誕生によって、非自民系市政が世代を超えてバトンタッチされた結果となります。

福田市長の初議会となった12月定例会では、所信表明がなされ、コロナ禍で傷ついた社会・経済を回復するために、保健医療、子育て・教育、創業支援など人を大事にする市政方針が打ち出されました。

一般質問では、ネットの山田ゆう子がジェンダー平等の市政について、清水泉がケアラー支援についてなど、福田市長が主要な選挙公約として掲げた内容について質しました。



また、市長選と同日に行われた市議補欠選挙で初当選した大田ちひろは、子育て世代の目線から子どものワクチン接種や母子の居場所づくりについて質問しました。

ネットは、福田新市政の誕生に大きな希望を持ちつつ、議会の立場、市民の立場から、市民自治発展のために提案をしています。

大田ちひろ当選で ネットは市議3名に躍進

New!!

市長選と同日の市議補欠選挙で、越谷市民ネットワークの新人・大田ちひろが当選したことにより、ネットの市議は過去最多の3名となりました。所属議員が増えたことにより、今まで以上に多くの方々つながりながら、活動を上げていきます。



12月議会で初質問

「ちひろカフェ」で意見交換



各地区で議会報告会を開催

埼玉県議会議員 辻こうじの

けんけんGO GO 県議会

12月議会編

「ワクチン差別どう考える？」

緊急事態宣言等が発令されても飲食店を休業せずに経済を回していくために国が打ち出したのが、「ワクチン・検査パッケージ」。緊急事態宣言下でもワクチン接種済証明書かPCR検査等の陰性証明書を提示した人は飲食店を普通に利用でき、そうでない人は座る席を分けたり利用時間を制限するという措置です。埼玉県はその導入に向けた「技術実証」（社会実験）を10月上旬尾駅周辺の飲食店で実施しました。



「経済を回して

いくためには仕方がない」という意見もありますが、ワクチンを打った人、打たない（打てない）人とを分断していくことに、何とも言えない違和感を感じるのは私だけでしょうか。

政府も「ワクチンを接種しない人への差別や不利益はあってはな



らない」と明確に言っていますが、この「ワクチン・検査パッケージ」はかなり危うい感じがします。12月県議会で私はその点を一般質問で大野知事に問いました。知事は、「県の技術実証は国のモデル以上に差別がないように配慮していること」や「ワクチン接種できない人のためにドラッグストア等での無料のPCR検査の実施」を答弁しました。ワクチンはリスクと効果を秤にかけて個人が選択をするもので、決して強制されたり不利益があつてはなりません。緊急事態だからこそ、人権感覚を忘れてはならないと思います。

埼玉県議会中継はこちら

越谷市民ネットワーク議員



埼玉県議会議員

辻 こうじ
せんげん台西在住



越谷市議会議員

山田 ゆう子
中町在住



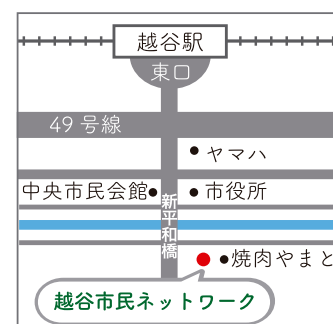
越谷市議会議員

清水 泉
袋山在住



越谷市議会議員

大田 ちひろ
新越谷在住



- ### 市民ネット3つのルール
- ①任期は最長3期12年で交代
 - ②選挙はカンパとボランティア
 - ③議員報酬はみんなの活動費

お問い合わせ

越谷市民ネットワーク
〒343-0023 越谷市東越谷1-5-17-1F
TEL/FAX 048-962-8052
E-MAIL koshigaya.net@gmail.com

アンケートにご協力ください

今回のレポートでどの項目に関心を持ちましたか。
○をつけてください

- ・福田新市政がキックオフ
- ・大田ちひろ当選でネットが市議3名に
- ・越谷市議会 12月定例会
- ・ネットの視点
- ・埼玉県議会 12月定例会報告

その理由をお聞かせください。

県政・市政についての要望や気になっていることをご自由にお書きください